

「救われるべき者の初穂」

2018年12月03日

テサロニケの信徒への手紙 Ⅱ 2章13節～17節　しかし、主に愛されている兄弟たち、あなたがたのことについて、わたしたちはいつも神に感謝せずにはられません。なぜなら、あなたがたを聖なる者とする“霊”の力と、真理に対するあなたがたの信仰とによって、神はあなたがたを、救われるべき者の初穂としてお選びになったからです。神は、このことのために、すなわち、わたしたちの主イエス・キリストの栄光にあずからせるために、わたしたちの福音を通して、あなたがたを招かれたのです。ですから、兄弟たち、しっかり立って、わたしたちが説教や手紙で伝えた教えを固く守り続けなさい。わたしたちの主イエス・キリスト御自身、ならびに、わたしたちを愛して、永遠の慰めと確かな希望とを恵みによって与えてくださる、わたしたちの父である神が、どうか、あなたがたの心を励まし、また強め、いつも善い働きをし、善い言葉を語る者としてくださるよう。

「著者」は、「真理を信じないで不義を喜んでいた者は皆、裁かれるのです」と、不法な者たちは、主イエスの御自身の口から吐く息で殺され、来られる時の御姿の輝かしい光で滅ぼされてしまうと書いている。Ⅱテサロニケの「著者」は、主の日に、不法な者たち、偽りを信じた者たちは永遠の破滅という、厳しい刑罰をうけると手厳しい。聖書の神は唯一の、全能の義なる神である。義は不義を赦さないから、裁きがあるのは当然であろう。しかし主イエスは、「父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである（マタイ 5:45b）」と語っておられる。ルカ福音書は、主イエスは十字架の上で、「父よ、彼らをお赦しください。自分が何をしているのか知らないのです（ルカ 23:34b）」と、罪人の赦しを祈ったと伝えている。パウロは、主イエスの赦しを信じ、「しかし、わたしたちがまだ罪人であったとき、キリストがわたしたちのために死んでくださったことにより、神はわたしたちに対する愛を示されました。それで今や、わたしたちはキリストの血によって義とされたのですから、キリストによって神の怒りから救われるのは、なおさらのことです（ローマ 5:8）」と書き、更に、「しかし、罪が増したところには、恵みはなおいっそう満ちあふれました（ローマ 5:20b）」とも書いている。神に敵対する罪人を赦すことが福音の核心的なメッセージである。Ⅱテサロニケの裁きの厳しさには、救われる人はいないのではないかと、少なからず抵抗がある。

「著者」は、「しかし、主に愛されている兄弟たち、あなたがたのことについて、わたしたちはいつも神に感謝せずにはられません」と、喜びを語る。感謝する理由は、「あなたがたを聖なる者とする“霊”の力と、真理に対するあなたがたの信仰とによって、神はあなたがたを、救われるべき者の初穂としてお選びになったからです」。“霊”の力によって、聖なる者とされ、神から愛されているという真理を信じる信仰によって、救われるべき初穂として選ばれた。「初穂」という言葉には嬉しい響きがある。神は、私たちの主イエス・キリストの栄光に与らせるために、「著者」たちが伝えた福音を通して、あなたがたを招かれたのである。「ですから、兄弟たち、しっかり立って、わたしたちが説教や手紙で伝えた教えを固く守り続けなさい」。主イエス・キリスト御自身は私たちを愛して、永遠の慰めと確かな希望とを恵みによって与えてくださる。父である神が、あなたがたの心を励まし、また強め、いつも善い働きをし、善い言葉を語る者としてくださるようと祈っている。